

表2 学習・教育目標とJABEE基準1(1)との対応関係

学習・教育目標			JABEE基準															
			a 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養	b 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、および技術者が社会に対して負っている責任に関する理解(技術者倫理)	c 数学、自然科学および情報技術に関する知識とそれらを問題解決に応用できる能力			d 該当する分野の専門技術に関する知識とそれらを問題解決に応用できる能力(電気・電子・情報通信およびその関連分野の専門技術に関する知識とそれらを問題解決に応用できる能力)	(1)その名称によって意味される工学領域における広さと深さ				e 種々の科学、技術および情報を利用して社会の要求を解決するためのデザイン能力	f 日本語による論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力および国際的に通用するコミュニケーション基礎能力	g 自主的、継続的に学習できる能力	h 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力		
					c1数 学	c2自 然科 学	c3情 報技 術		(a)専門に関する基礎学力	(b)実験の計画遂行能力	(c)与えられた専門的課題を解決する能力	(d)専門的課題の設定能力						
A	調査・分析する能力 (plan)	A1	国際社会で生じる様々な現象について総合的に把握することができる能力を養う	◎														
		A2	社会や環境に与える影響を考慮し倫理的な視点から考えることができる能力を養う		◎													
		A3	工学的な視点から、自然・社会現象を分析する能力を養う				◎											
B	設計・モデリングを行う能力 (design)	B1	自然・社会現象を数学的にモデル化することができる能力を養う			◎	○						○					
		B2	工学分野における諸現象のしくみを理解する能力を養う			○	◎											
		B3	工学分野における諸現象のしくみを応用する能力を養う						◎	○	◎							
C	シミュレーションを含むものづくりを行う能力 (do)	C1	様々な分野に応用できる情報技術を身につける					◎	○	○	○	○	○					
		C2	ソフトウェア・ハードウェア・ネットワーク、計測・制御システム関連の基本的なものづくりができる能力を養う					○					◎					
		C3	複合分野にわたる知識を身につけそれらを有機的に結びつけることができる能力を養う						◎	◎		◎		○				
D	システムを検証、評価し、表現する能力 (see)	D1	英語を含むコミュニケーション能力を養う												◎			
		D2	システムを検証し、客観的に評価することができる能力を養う						○	○		○	○	○	○			
E	システムを創生する能力 (create)	E1	与えられた課題に対して、計画的にシステムを構築していくことができる能力を養う											○		○	◎	
		E2	自己実現に向けて、継続的に課題を見つけ、問題解決を図ることができる能力を養う												○	○	◎	